

公安委員会定例会議の開催状況

第1 日時 令和7年8月6日（水）午後1時30分から午後3時37分までの間

第2 出席者 前田委員長（司会）・松尾委員・刈谷委員

本部長・警務部長・生活安全部長・刑事部長・交通部長・警備部長・情報通信部長
首席監察官・総務参事官・地域参事官兼人身安全対処参事官・組織犯罪対策参事官

第3 議事の概要

[報告事項]

1 警察職員の援助要求について

警備部から、警察職員の援助要求について報告があった。

各委員から、「夏の暑い盛りの派遣であり、暑熱対策など健康に留意するとともに、移動中の交通事故にも十分注意していただきたい。」旨の発言があった。

2 令和7年上半期の苦情受理状況について

警務部から、令和7年上半期の苦情受理状況について報告があった。

委員から、「苦情に対して真摯に向き合い適切に対応することは、警察活動に対する県民の満足度向上にもつながる。その意味において、苦情は県民からの贈り物と捉えることができる。また、一人一人の警察職員が胸を張って職務を遂行することができるためにも、苦情への組織的な対応を徹底していただきたい。」旨の発言があり、警察本部から、「苦情で問題となるのは、受理件数全体の多寡ではなく、職員に否のある苦情をきっかけとして、いかに業務改善につなげていくかということであり、引き続き適切な現場対応と苦情処理に努めてまいりたい。」旨の説明があった。

また、別の委員から、「職務質問にしろ、交通違反取締りにしろ、先入観を持って県民と接することで苦情に発展する場合があると思われる。」旨の発言があり、警察本部から、「近年、レイシャルプロファイリングが問題となっている。職務質問を行う際は、相手方の服装等だけでなく、異常な挙動等をもって現場対応するよう、職員への指導を徹底してまいりたい。」旨の説明があった。

3 銃砲刀剣類等一斉検査の実施結果について

生活安全部から、銃砲刀剣類等一斉検査の実施結果について報告があった。

委員から、「猟銃や刀剣類について県下の所持状況をしっかりと把握していただき、公安委員としても安心感を覚える。地道な検査であるが、今後とも抜かりなく対応していただきたい。」旨の発言があった。

また、別の委員から、「先般報道にもあったとおり、殺傷能力のあるおもちゃ銃がクレーンゲームの景品で出回り、銃刀法違反にあたるとして警察が回収を進めているが、3Dプリンタなどで素人でも簡単に銃が作成出来る時代になったと改めて感じる。そういった銃をいかに発見し取り締まるかが、銃規制における今後の課題だと思う。」旨の発言があり、警察本部から、「現在流通している殺傷能力のあるおもちゃ銃などは、そもそも国内で流通させてはいけない禁制品であり、ご指摘のとおり、いかに取締りを強化していくかということに尽きると考えている。単独でテロなどの犯罪行為を行う、いわゆるローンオフエンダー対策からも、警察組織として銃器が悪用されることのないよう部門横断的な情報収集に努めており、引き続きしっかりと対応してまいります。」旨の説明があった。

第4 個別決裁

1 警察職員の援助要求について（受理・回答）

警備部から、警察職員の援助要求について説明があり、回答案について原案のとおり決定した。

2 審査請求にかかる反論書の受領について

交通部から、審査請求にかかる反論書の受領について説明があり、了承した。

3 審査請求にかかる裁決書案及び裁決書謄本の送付について（2件）

公安委員会事務室から、審査請求にかかる裁決書案及び裁決書謄本の送付について説明があり、裁決書案について原案のとおり決定した。

4 公安委員会定例会議の議事録について

公安委員会事務室から、令和7年7月23日に開催した公安委員会定例会議「議事録」について報告があり、了承した。

第5 意見の聴取及び聴聞関係

運転免許センターから、運転免許の行政処分に係る意見の聴取等の結果について報告があり、審議の結果、15件（飲酒6件、無免許2件、交通事故1件、その他6件）の行政処分を決定した。